

ゴールデンウィークに、海辺の小学校に名画が勢ぞろい!!

海とアートの
学校まると
美術館

布良の海を愛した画家たち展

～青木繁・寺崎武男・倉田白羊～

AOKI Shigeru

TERASAKI Takeo

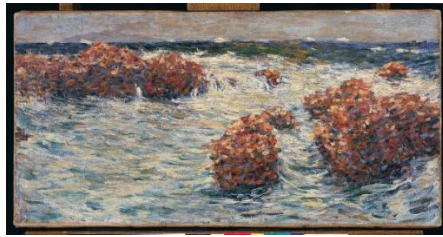
KURATA Hakuyou

2019.4.27 (土) ~ 5.6 (月) 10:30~15:00

会場:旧館山市立富崎小学校 (館山市相浜 282-1) 入場無料



青木繁『海』『海景 (布良の海)』



石橋財団ブリヂストン美術館蔵

青木繁が重要文化財『海の幸』を描いた館山市布良は、美しい景観が多く画家に愛され、「美術界の聖地」と呼ばれた漁村です。

日本屈指のカラー印刷技術者(布良在住)島田吉廣氏制作の複製画は、原画に忠実な色彩が再現され、圧倒的な青木繁作品の迫力を体感することができます。

廃校となっている富崎小学校の児童たちが描いた模写作品も展示公開します。

ご来場の皆さんも、名画の模写をしてみませんか。



青木繁『海の幸』 富崎小学校平成17年度卒業記念制作



青木繁『朝日』佐賀県立小城高校同窓会黄城会蔵

布良崎神社に鳥居型の額装で奉納されている作品や本邦初公開の神話シリーズなど寺崎武男の大作、倉田白羊の襖絵などの原画を一堂に展示します。



寺崎武男 屏風絵『平和来たる春の女神』



倉田白羊 襖絵

お楽しみ
いろいろ

市民も観光客の
皆さんも、ふるって
ご参加ください。

***毎日午後1時30分より
お楽しみイベントがあります。**

4/27(土) 歌 by ふーたむ♪

4/28(日) 南京玉すだれ

4/29(月) 手品&絵巻語り部

4/30(火) 漁村ウォーキング

5/1(水) 上映会「日曜美術館・青木繁」

5/2(木) 太極拳講習会

5/3(金) 殺陣演舞 by 魂刀流南総青剣会

5/4(土) 神話の浜ウォーキング

5/5(日) 手品&紙芝居「八犬伝」

5/6(月) 歌 by え〜ころ♡バーバンズ♪

*** 防災寺子屋講座「地震津波の避難所の心得」**

4/27(土) 11:00~12:30 ~みんなで参加しよう!

・段ボールトイレの作り方 ・備蓄米の試食 など。

海の写真やグッズ展、富崎ゆかりの歴史や偉人紹介、貝のアクセサリ作り体験などなど、大人も子どもも楽しめる企画がたくさん! (一部有料体験コーナーあり)

*** 俳句吟行会**

4/29(月) 10:30~15:00

*** 貝磨きアート体験**

4/30(火) 10:30~15:00

*** 魂刀流南総青剣会**

5/3(金) 11:30~15:00

剣がつなげる 2020 プロジェクト



衣料品
バザー

我楽多市

フリー
マーケット

食品販売

* 主催: 青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

* 事務局: NPO 法人安房文化遺産フォーラム (090-6479-3498 池田・090-3218-3479 河辺)

* 協力: 富崎地区コミュニティ委員会・一般財団法人あわ

* 後援: 館山市・館山市教育委員会・館山市観光協会・房日新聞社

布良の海を愛した画家たち

◆◆◆海とアートの学校まるごと美術館◆◆◆

マグロはえ縄漁で江戸期から栄えていた房州布良は、天富命(アメノミコト)が上陸したとされる神話の里です。阿由戸の浜には女神山・男神山がそびえ、水平線上には伊豆大島・利島・新島・・・島々が並びます。布良崎神社では2つの鳥居の間から、霊峰富士を拝むことができます。風光明媚な景観が多くの画家に愛された布良は、「美術界の聖地」と呼ばれています。

青木繁 東京美術学校を卒業した明治37(1904)年夏、友人と恋人と4人で布良(館山市)の小谷家に滞在し、『海の幸』をはじめ多くの作品を情熱的に描きました。翌年の再来房時、伊戸(館山市)の円光寺で板戸4枚に焼き釘で描いた太平洋の大波画は、波の伊八が制作した欄間彫刻『龍と波』がイメージソースになったかもしれません。青木は神話にも造詣が深く、後に描いた『わだつみのいるこの宮』は布良の潜水体験から構想したといえます。玄界灘を描いた遺作『朝日』も圧巻です。

寺崎武男 青木より3年後に東京美術学校を卒業し、農商務省実業講習生としてイタリア留学、フレスコ壁画やエッチングを学びました。帰国後に日本創作版画協会を設立し、日本美術史に影響を与えました。館山に住んでいた現代彫刻の祖・長沼守敬を慕って、大正期より西ノ浜(館山市)に別荘を持ち、震災後に定住しました。安房高校で美術指導をしながら、多くの房総神話を描きました。布良崎神社には鳥居型の額装作品が、安房神社や下立松原神社にも神話作品が奉納されています。

倉田白羊 青木の3年先輩で東京美術学校を卒業し、写生旅行で来房中に会った根本(南房総市)の小谷英子と結婚しました。八幡(館山市)に住み、大正期に富崎小学校をはじめ安房各地で児童自由画教育に尽力しました。美術誌『方寸』最終号は青木繁追悼特集とし、夫婦で編集にあたりました。妻の英子は、布良の隣村・根本の生まれで、米国モンレーに渡ったアワビ漁師(小谷源之助・仲治郎)の妹です。七浦(南房総市)の兄・仲治郎の家には、白羊が描いた襖絵もありました。

◆◆◆ 青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅 ◆◆◆

(館山市指定有形文化財・ちば文化資産)

小谷家住宅は、青木繁を敬愛する全国の画家の皆さんの支援を得て建物を修復し、2016年に記念館として開館しました。現在は400名を超える「友の会」の会費と入館料でまかない、ボランティアの奉仕により維持運営しています。

庭園には彫刻家・船田正廣氏制作のブロンズ『刻画・海の幸』や、ノーベル生理学・医学賞受賞・大村智先生の記念植樹もあります。当時のたたずまい、青木繁の感じた空間をご堪能ください。

- * 開館日： ゴールデンウィークは毎日開館（通常は土日曜開館・平日は要予約） 開館時間：10:00～15:30
- * 維持協力金（入館料）200円・小中高100円 ※友の会会員は入館無料・会報送付
- * 友の会： 年会費2,000円・法人10,000円（ゆうちょ銀行00150-6-616201 青木繁「海の幸」記念館）



交通案内

【JR館山駅まで】

- ・東京駅から、高速バス「なのはな号」(約110～120分)
- ・JR内房線「さざなみ」(約120分)
- ・新宿駅から、高速バス「新宿なのはな号」(約110分)
- ・千葉駅から、高速バス「南総里見号」(約100分)
- ・横浜駅から、「空港リムジンバス」(約110分)
- ・羽田空港から、「空港リムジンバス」(約100分)

【館山駅から布良へ】

- ・JRバス関東・安房白浜行き(約25分)
富崎小学校 = 「相の浜」下車5分
青木繁記念館 = 「安房自然村」下車3分
- ・タクシー(約15分)

【自家用車】

- ・東京湾アクアライン、または京葉道路・館山自動車道
⇒ 富浦IC下車
左折国道410号
(約30分)

